



スポーツ推進委員だより

【令和元年9月発行／第39号／桶川市スポーツ推進委員連絡協議会】

オリンピック・パラリンピック関連施設を巡るバスツアー

7月14日（日）大人46名、子供43名、雨天の中、桶川駅西口を8時にバス2台に分かれて出発しました。造幣さいたま博物館では、体験コーナー、貨幣や勲章、オリンピックのメダルの展示スペースを見学しました。次に埼玉スタジアム2002では、2班に分かれ施設内を見学しました。ロッカールームでは、歴代のレズや日本代表ユニホームが、展示してありました。ピッチを近くで見学しベンチに座り、参加者の皆さまは、いろいろなところで写真撮影をしました。

日体大世田谷キャンパスでは昼食後、日体大 荻教授による『オリンピックってなあに』の講義をオリンピックの歴史など楽しく受講しました。講義後、2班に分かれボクササイズと施設見学をしました。ボクササイズでは、ボクシング部の学生の皆様に指導を受け参加者の皆様は、楽しく体を動かしていました。又、希望者はリングに上がり、大学生相手にパンチを繰り出していました。施設見学では、日体大に関わりあるメダリスト達の写真や施設を見学しました。

皆様のご協力で、全員が無事帰路につきました。



スポーツ振興課紹介

令和元年度スポーツ振興課職員は、小島輝夫課長、竹内裕也係長、藤倉陸海主事、矢部咲也香主事補の4人体制で行われます。

写真左から
藤倉主事、矢部主事補、小島課長、竹内係長



実技研修会

4月14日(日) 桶川市庁舎にて普通救命講習の実技研修会が行われました。私達スポーツ推進委員は、小さいお子様から年配の方まで接する機会がある為、毎年普通救命講習を受講しております。けが人や急病人が発生した場合、応急手当てを速やかに行えば、救命効果の向上につながります。

傷病者の方を救急隊の方に引き継ぐまでの空白の時間に適切な応急手当てを実施するための知識と技術を学び、身に付けておく必要性を感じ実施しております。

日常生活、災害時でも傷病者をみたらお互いが協力し合って救護活動ができるよう市民の方も受講されることをお勧めいたします。



関東スポーツ推進委員研究大会

6月7日(金)～8日(土)、関東スポーツ推進委員研究大会埼玉大会が大宮ソニックシティおよび周辺で開催されました。「彩の国から地域スポーツで社会の絆を!」～みんなです・みる・ささえる 環境づくりを～、をテーマに、関東甲信9都県から約2200名、桶川からは運営委員3名含む10名が参加しました。

1日目は開会式・表彰式が行われ、86名の方々が功労者表彰されました。その後、東洋大学陸上競技部監督の酒井俊幸氏より基調講演をして頂きました。箱根駅伝で同大をこれまでに優勝3回を含め11年連続3位以内という成績に導かれるなど、素晴らしい成果を収めてきた指導方法、考え方を話されました。ひたむきに継続すること、体づくり、勝つことも大事だがスポーツを続けて行きたい気持ちを持たせることなどを話されました。

2日目は3分科会に分かれ、研究協議等が行われました。第1分科会は「地域スポーツの拡大」をテーマに、埼玉県東部支部(埼玉葛地区)で考案された「さいかつぼーる」について誕生～普及の紹介がありました。コーディネーターとして東海大学体育学部の河邊保孝准教授を迎えて行われました。

第2分科会のテーマは「障がい者スポーツとの共生社会へ」でした。障がい者スポーツを地域へ広める活動として、埼玉県障害者交流センターの白石三重子氏より埼玉県の現状を紹介して頂いた後、松伏町、吉川市、越谷市の取組み事例紹介がありました。工夫すること、環境づくり、近隣の市などとの協力も大切等の論議がありました。

第3分科会は「さいたまを見る(ウォーキング)」をテーマに、東京2020オリンピック競技が開催されるさいたま市内をウォーキングで散策しました。

南部支部北地区スポーツ推進委員連絡協議会研修会・女性研修会

6月15日(土) 桶川サン・アリーナにて、南部支部北地区スポーツ推進委員連絡協議会研修会及び同女性研修会が開催されました。

市民の健康・体力の保持・増進と地域に根差した生涯スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員が中心となり主体性と指導力の向上と相互の連携を深めました。並びに、女性の特性を生かしながらニュースポーツ等の指導方法を研究しました。上尾、北本、桶川市のスポーツ推進委員が集い、桶川市からは19名が参加しました。

午前の実技研修では講師に濱島有里さん、矢羽田未令さん、竹原滯さん(アルティメット日本女子代表)をお招きしアルティメットの実演をしました。ディスクを動きながら投げるのは難しく、皆さん四苦八苦していました。午後はシッティングリトルバレーを実演しました。この競技はスポーツ推進委員が考案した競技です。ルールは全員が座りお尻を床につけたままでバレーボールをする競技です。参加者は笑顔で楽しんでいました。



おけがわ春のふれあいフェスタ

5月12日(日)新緑の駅西口公園及び市民ホールにおいて、10周年記念フェスタが開催されました。

70ほどの出店、パラリンピアン講演会、ステージ発表と盛りだくさんの催しに、多くの人達でにぎわいました。

そんななか、スポーツ推進委員11名も学生ボランティア2名と共に1ブースを担当、今回はおなじみの「クロリティ」と初出しの「ラダーゲッター」の組み合わせで参加しました。

新種目は珍しさもあって意外と人気がありました。それぞれ1日を通して、小学生グループやファミリーなどが途切れる事なく遊びに来てくれました。

様々な皆さんと楽しみながらふれあうことができ、有意義な1日となりました。



ミニバレー教室

前期(5月13日~6月17日)毎週月曜日全6回15名、桶川東中にてミニバレー教室を実施しました。後期(6月20日~7月25日)毎週木曜日全6回16名、桶川サン・アリーナ(サブ)にて行いました。

準備体操から始まり、円陣にてパス練習をし、サーブ練習、アタック練習をした後、メインであるチーム分けによる練習試合を行いました。

練習試合とはいえ、試合さながらの気迫あふれるプレーやときに見られる笑いあふれるシーンが印象的などとも充実した教室でした。

9月の市民ミニバレー大会に向けて皆さん頑張っていました。



シルバーニュースポーツ教室

5月7日~6月4日まで、毎週火曜日の午後1時30分~桶川サン・アリーナで5回行いました。

57名の参加者は平均9割ほどの出席率で、グラウンド・ゴルフ、スポーツ吹き矢、スクエアステップ、ディスクゴルフ、ラダーゲッター、ソフトペタンクの6種目にトライしました。

女性参加が多く、初参加の方も多くルール説明を真剣に聞いておりました。皆さん一生懸命取り組んでいました。またリピーターの方は、腕を上げより良い結果を出せるよう頑張っていました。久しぶりにソフトペタンクを教室で行いましたが、皆さんとても夢中になって、楽しくて終わらせたくない様子でした。皆さんが元気に参加してくださり、無事教室が終了しました。



尾瀬ヶ原市民ハイキング

5月26日(日) 晴れ「尾瀬ヶ原市民ハイキング」を行いました。参加者は42人とスポーツ推進委員7人の計49人でした。朝6時過ぎに桶川駅西口を大型バスで出発し、戸倉駐車場でシャトルバスに乗り換えて鳩待峠に9時過ぎに到着しました。

準備体操してから9時35分に出発し、山の鼻までの3.3km山道を下って行きました。スタート地点は雪溶け水でぬかるみ、一歩一歩足元に注意しながら進みました。途中でミズバショウの群落を見ることができ、足を止めて写真を撮りました。山の鼻に10時45分に到着しました。昼食を済ませて11時35分に、牛首分岐までの2.2kmを折り返しました。前方に燧ヶ岳、後方には至仏山と尾瀬を代表する名峰を見ることができました。山の鼻に戻り休憩してから、鳩待峠までの上り坂は大変でしたが、皆さん頑張り15時過ぎに到着しました。歩行距離は11km、所要時間は5時間30分のハイキングを終えて帰路に就きました。道の駅でお土産を買い、桶川駅西口には少し遅れて19時25分に到着しました。参加された皆さんお疲れ様でした。



南部支部北地区スポーツ推進委員連絡協議会野外活動指導者研修会

8月4日(日)～5日(月)、埼玉県スポーツ推進員連絡協議会南部支部北地区の野外活動指導者研修会が、熊谷市及び嵐山町周辺で行われました。桶川から11名、北本7名、主管の上尾から22名が参加しました。

初日は熊谷で、午前中グラウンド・ゴルフを行いました。芝生コースで地面や床面と違った難しさがあり、思わぬところで打数を増やしてしまいました。一方でホールインワンを出す人もいて猛暑の中頑張りました。午後はウォーキング用ボールを使用したエクササイズを行いました。

2日目は嵐山町の大平山を中心にハイキングを行いました。前日の研修で学んだボールを使用したウォーキングを実践する人もいて、その効果を体験していました。3～5kmのコースで日差しがきつかったですが、林の中では山歩きの楽しさも味わえました。午後は日高市のサイボクハムで昼食をとり、体の疲れを癒して帰りました。

危険とも言われる猛暑の中の2日間でしたが無事終了出来、野外活動の体験と各市の皆さんとの親睦を深める事が出来ました。



令和元年度下半期行事予定

9月22日(日) シルバーレクリエーション大会
10月28日(月) いきいきウォーキング事業
11月10日(日) フットサル大会
11月30日(土) スポーツフェスティバル
2月9日(日) オケちゃん駅伝競走大会
予定しておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。
詳しくは広報をご覧ください。

編集後記

下半期の行事も多数予定しており、皆様のご参加をお待ちしております。

編集委員：田坂めぐみ、小池 尚道、
山下 智弘、木村 恭子、
加藤 元一、原田尚実知、
雨宮 恒美、北山 大地